

H 体育理論**「アスリートだけじゃない！私のオリンピック！！」****～ 運動やスポーツへの関わり方を学ぶ ～****本単元で育成する資質・能力**

(教科) スポーツに関する科学的知識や文化的意義等の基礎的な知識

(学校) コミュニケーション能力, 主体性

1 日時 平成30年11月18日 13:30～14:20

2 学年 第1学年1. 2組 (女子26名)

3 場所 1年2組教室

4 単元について

○ 本単元は、体育分野における運動の実践や保健分野との関連を図りつつ、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するものである。主に、中学校期における運動やスポーツの合理的な実践や生涯にわたる豊かなスポーツライフを送る上で必要となる運動やスポーツに関する科学的知識等を示している。これらの内容について学習したことを基に、思考し、判断し、表現する活動を通して、体育の見方・考え方を育み、現在及び将来における事故の適正等に応じた運動やスポーツとの関わり方を見付けることができるようにすることが大切である。

運動やスポーツへの関わり方は多様である。「する」だけでなく、「見る、支える、知る」などの関わり方があることを理解する。

○ 本学級の生徒は、1学年の1組2組の合同クラスである。体育分野においても、保健分野においても、非常に活発な学級である。アンケートでは、約80%の生徒が体育に関して肯定的な評価をしている。授業にいては、運動が得意な生徒も、苦手なせいとも主体的に活動に取り組むことができている。また、運動が苦手な生徒も失敗を恐れることなく、一生懸命課題を克服しようと頑張る姿が見られる。また、そんな状況を周りが応援する雰囲気もある。保健分野においても、話合いや発表も積極的に行うことができている。

また、オリンピックに関する事前アンケートでは約90%の生徒が2020年の開催地を東京だと認識していた。オリンピックの対するイメージを聞いたところ「国家規模」「運動神経のいい人の大会」「金メダルをねらっている」などの選手に焦点を当てた意見が多くあった。しかし、「応援したい」「楽しそう」「応援したくなる」などの選手以外の関わり方を書いている意見もいくつかあった。

○ 指導に当たっては、2年後に迫った東京オリンピックについて取り上げて学習を進めていく。運動やスポーツに関して苦手意識をもっている生徒もいる。そんな生徒達は、学校教育を修了し、体育という時間がなくなれば運動やスポーツが生活の中から消えてしまうだろう。生涯にわたって運動やスポーツに親しむということは必ずしも「する」という関わりかただけではないことに気付かせたい。運動やスポーツへの関わり方は多様であり、中学校期を終えた後の長い人生においても、生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのきっかけとなるように学習を進めていく。

2年後に迫った東京オリンピックを取り上げて、過去のオリンピックの写真から「○○する人」をキーワードに選手だけでなく、様々な関わり方があることに気付かせたい。また、日本で開催されるという貴重な機会に自分自身がどのように関わるかについて考えさせたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科、領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し、学習班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	レベル 1	レベル 2	レベル 3
知識・スキル	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）			
	表現力・コミュニケーション能力	（話す） 自分の考えや意見を、自分のことばで、表現することができる。	わかりやすく（伝える） 自分の考えや意見を、わかりやすくまとめ、自分のことばで、表現することができる。	（説得する） 自分の考えや意見を、わかりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で、表現することができる。
		（聞く） 相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、聞いている。	（聴く） 話の組み立て構造を考えながら、相手の意図や要点を整理しながら、聴くことができる。	（訊く） 相手の考えについて根拠の信頼性を判断しながら、訊くことができる。話された内容と自分の意見をふまえて疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。
		聞いて質問することができる。 （やりとり 1 回）	さらに深めた質問ができる。 （やりとり 2 回）	質問の後に自分の意見を述べ、内容を深めることができる。 （やりとり 3 回以上）
意欲・態度	主体性	課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで、取り組もうとしている。	自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで、取り組もうとしている。

6 単元目標

- 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることを理解できる。（知識）
- 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者へ伝えることができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができる。（学びに向かう力・人間性等）

単元を
貫く問い

8 指導計画（全3時間）

次	学習内容（時数）	観 点				評 価	
		関意	思判	技能	知理	評価規準	資質・能力 （評価方法）
プロローグ（単元を貫く問い）		運動やスポーツの楽しみ方にはどんな方法があるのか？					
1	運動やスポーツの必要 性と楽しさ	○				運動やスポーツが多様であること、 運動やスポーツの意義や効果などについて 関心をもち、学習に積極的に 取り組もうとしている。	【主体性】 （振り返りシート）
2	運動やスポーツへの多 様な関わり方 【本時2／3】				○	運動やスポーツが多様であること について、出された意見や情報を分 析したり、整理したりしている。	【コミュニケーション能力・表現力】 【スポーツに関する科学的知識 や文化的意義等の基礎的な知識】 （行動観察・ワークシート）
3	運動やスポーツの学び 方		○			運動やスポーツが多様であること について、出された意見や情報を分 析したり、整理したりしている。	【主体性】 （振り返りシート）
エピローグ（単元を貫く問いの解決）		運動やスポーツの楽しさ・関わり方・学び方は多様である。					

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること、及び知ることなどの多様な関わり方があることを理解できる。(知識・理解)

(2) 本時の評価規準

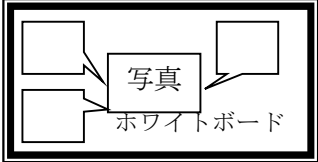
- 運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や情報を分析したり、整理したりしている。

(3) 準備物

ミニホワイトボードセット・モニター・タブレット端末・デカ付せん・写真

(4) 学習の流れ(2時間目/全3時間)

導入の工夫

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力(評価方法)
1 映像を見る。[3分]		
・オリンピックに関する映像をみる。 (リオオリンピックの閉会式の様子)		
2 本時の課題を設定する。[17分]		
・オリンピックの写真から「〇〇する人」をキーワードにミニホワイトボードにまとめる。ミドル付せんに書き、吹き出しのように貼っていく。(5分間) 	◆話合いの進んでいない班には写真を見ながら「何をしている人？」と声をかけていく。 ◇班を見て回りながら「する」以外の意見に印を付けていく。 ◇発表と同時に意見に印を付けていく。 ◇スポーツの大会(オリンピック)には様々な人が関わっていることを理解させる。	
・各班30秒程度で発表する。		
学習課題 「アスリートだけじゃない！私のオリンピック！！」 ～運動やスポーツへの関わりかたを学ぶ～		
・東京オリンピックに関する映像を見る。 ○ボランティア募集 ○PR映像 ○東京オリンピックに関わるニュース		



3 ねらいを確認する。[5分]		
・東京オリンピックについての解説を聞く。 (ボランティアの募集人数・お金の話など)		
ねらい 運動やスポーツには、多様な関わり方があることを理解できる。		
4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[5分]		
・ミドル付せんに書いた意見を分類する。 ・分類について各班30秒程度で発表する。	◇分類したミドル付せんに黒板に貼っていく。	【スポーツに関する科学的知識や文化的意義等の基礎的な知識】 (ホワイトボード)
問い:「2000年、尾道でのオリンピックの開催が決定しました!!あなたはオリンピックにどう関わりますか?」		
・自分がオリンピックにどのように関わるか考え、デカ付せんに書く。 ・書いた意見を黒板に貼っていく。	◆関わり方が分からない生徒に対しては、始めに書いたホワイトボードの考えをヒントに出して考えを促す。 ◇班で分類したものに近いところに貼りにいくように黒板を整理しておく。	【コミュニケーション能力】 (行動観察)
生徒の予想される反応 競技会場行って応援する/テレビの前で観戦する/ボランティアに参加する/外国人の案内をする/選手として参加する/スタジアムを建設する・・・等		
5 思考を深める学び合い。[5～7分]		
・デカ付せんに書いた、自分自身の関わり方について発表する。	◇数人を当てて発表させる。	【表現力】 (デカ付せん)
6 学習のまとめをする。[3分]		
・学習のまとめをする。	◇生徒の考えを中心に、運動やスポーツには多様な関わり方があることを理解させる。	
7 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]		
○振り返りを書く。		
生徒の振り返り ・運動やスポーツは選手としてプレーするだけではなく、多様な関わり方があることを知った。東京オリンピックでは、[観戦する人として/中学生にもできるボランティアがあれば支える人として] 関わりたい。		

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	運動やスポーツへの多様な関わり方を理解し，自分自身がどのように関わるかが書かれている。
B（合格）	運動やスポーツへの多様な関わり方を理解している。
C（乗り越えさせたい実態）	感想のみの記述になっている。

（５）板書計画

単元名	体育理論		
ね ら い	運動やスポーツには，多様な関わり方があることを理解できる。		
学習課題	「アスリートだけじゃない！私の東京２０２０！」 ～運動やスポーツへの関わりかたを学ぶ～		
分類	分類	分類	分類